

年 組 名前：

問1

コハクチョウは、何のために、シベリア地方などから山梨県内などに飛来するのですか。

.....

.....

.....

問2

コハクチョウは、オオハクチョウと比べどんな特徴がありますか。

.....

.....

問3

コハクチョウのように、冬に北方から飛来する渡り鳥(冬鳥)を調べ、いくつか書いてください。

.....

.....



コハクチョウ 2季ぶり飛来 中央

中央市の笛吹川と鎌田川の流域で、越冬のために飛来したコハクチョウの群れが確認された。やまなし野鳥の会によると、この地域への飛来は2シーズンぶり。会によると、昨年12月下旬に家族とみられる4羽の群れを確認。4羽は1週間ほどでいなくなったものの、1月8日に10羽、9日に15羽が飛来した。北陸地方の寒波の影響で南下してきたとみられる。コハクチョウは、オオハク

鎌田川に飛来したコハクチョウの群れ
|| 中央市藤巻

峡中

村松 大輔
松本飛勇馬
(055)280-3230
FAX 280-3231

スマホで動画
AR
MOVIE

コハクチョウと比べてくちばしの黄色い模様が小さいのが特徴。夏場はユーラシア大陸のシベリア地方などで過ごし、日本に渡って越冬する冬鳥として知られている。この地域では2018年まで7シーズン連続で飛来が確認されていたが、昨季は確認されていなかった。1月9日には20羽以上のコハクチョウが水中に頭をいれて水草や藻を食べたり、羽を大きく広げたりする様子が見られた。例年は3月ごろまで周辺にとどまるが、餌となる水草が不足しているため定着しないとみられる。窪田茂会長は「北陸で大雪となっているので、またコハクチョウが飛来してくる可能性がある。見かけたら静かに見守ってほしい」と話している。

(2021年1月15日付 山梨日日新聞 21面)